



長崎高教組

定通部だより

2012年7月17日

第2号

発行責任者 今泉 宏

ホームページ <http://nagasaki-kokyoso.org>
メールアドレス info@nagasaki-kokyoso.org

2012年度 定通部役員

部長 濱本功二 (大村定)
副部長 江頭清隆 (佐工定)
副部長 今泉 宏 (鳴滝夜)

第23回定通部定期大会

2012年7月15日(日)10:30~12:30 高教組会館

午前中の定期大会には10分会中8分会が出席、残り2分会からは委任状が提出され、大会は成立しました。濱本定通部長(大村定時)、大場執行委員長(鳴滝通信)のあいさつのあと、烏山代議員(鳴滝夜間)の進行で、2011年度決算、2012年度役員承認、2012年度活動方針、2012年度予算について審議し、すべて議案書通り可決しました。

議案の中で、安易な廃科をさせない取り組みに関して、佐世保工業定時、長崎工業定時より現状の説明があり、分会としてのとりくみの重要性を確認しました。また、同一校の他の課程との交流が少ないため、お互いの生徒理解が難しくなっているとの意見が大村定時から出され、分会同士の交流を始め、交流の輪を組合が中心となり広げていくことが大切だという意見が出ました。



県教研「定通部分科会」

テーマ「スクールソーシャルワーカーについて学ぼう」24人が参加

午後からの「スクールソーシャルワーカー(SSW)」についての学習会は、野尻紀恵さん(日本福祉大学准教授)と木村和子さん(長崎市SSW)を講師にお招きして御講演をいただき、その後各学校での問題点について講師の先生も交えて情報交換をしました。

教師は生徒を指導するうえで、「厳しくしつけをしなれば」という意識が強くなりがちだが、厳しい指導だけでは改善されない生徒がいる。そのとき、生徒の背景、裏にあるものに視点をもっていくと、教師側の視点が変わる。そのサポートをするのがスクールソーシャルワーカーという説明に参加者一同、自分の目の前の生徒を思い浮かべながら、ハッとさせられたのではないだろうか。

長崎では市教委にSSWが配置されているが、県立学校にはまだ配置されておらず、中学まで関わった生徒が高校に進学したら関わることができないなどの問題点も出され、高教組のとりくみの重要性を感じました。

多様な生徒が通う定通制の学校においては、これから福祉との関わり合いが必要だということを実感させられた大変有意義な学習会となりました。今後私たちがもっと社会福祉のシステムや機関について勉強する必要性も感じました。

未組合員の先生、一般市民の方も参加いただき、これからSSWについてより多くの方に知っていただくきっかけづくりにもなったと思います。

なお講演を記録したDVDを各分会に後日配布します。職場教研などにご活用ください。

講師の

野尻紀恵さん(右)
木村和子さん(左)

